

A そう思う B 大体そう思う C あまりそう思わない D そう思わない

精華幼稚園教育目標		ひとり立ちする子	自己評価	学校関係者評価委員会から	
			評価	意見	
三つの重点	1 経験・体験の幅の拡大	【教師の営み】精華幼稚園は、日々教師も一緒に加わって子どもたちの遊びを盛り上げている。また、集いや行事や園外保育なども積極的に企画し、子どもたちの経験や体験の幅を広げさせようとしている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校以降の学校教育を見据え、追求力、問題解決力の源を築こうとしている。幼児教育に対する幼稚園の基本姿勢が伺える。</li> <li>・子どもたちはとにかくよく遊ぶ。子どもたちの表情、声、動きには、期待どおりの充足感が感じられる。</li> <li>・園児たちは、来園した人たち誰にでも臆することなく自然体で接する。転入園児たちもいち早く園に溶け込める。</li> <li>・外で会ったときも人なつっこさを感じる。</li> <li>・ここというとき真剣に耳を傾けようとする姿勢は健在である。先生たちの継続的な努力が実を結んでいる。</li> <li>・昨年もお願いしたが、この3つの重点は小学校以降においても大切なことであるので、今後も引き続き推し進めていっていただきたい。</li> </ul>
		【子どもの状況】子どもたちの遊びは期待したとおりの広がりや深まりを見せてきている。	A	A	
	2 人間関係調整力の伸長	【教師の営み】精華幼稚園は、子どもたちが人とふれあう機会を積極的に設定しようとしている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、臆することなく人とふれあうことができるようになってきている。	A	A	
	3 聞く態度・聞き取る力の育成	【教師の営み】精華幼稚園は、意識して子どもたちに話を聞き取らせる工夫と努力を続けている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちの話を聞こうとする姿勢は着実に育ってきている。	A	A	

教育目標具現に向けて育てたい七つの子ども像	1 自由遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもが自分で遊べるよう積極的に子どもたちの中に飛び込み、子どもたちに遊びを促す。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の自由遊びの時間帯、どの子もみんな生き生きと遊んでいる。先生たちも本気で遊んでいる。朝の園庭は本当に活気にあふれている。</li> <li>・先生が回す長縄に、年少児、年中児、年長児が入り混じって跳んでいる。みんなと手をつないで「花いちもんめ」に興じる先生がいる。朝の園庭は、子どもと教師が溶け合って毎日活況を呈している。</li> <li>・子どもたちはそれぞれの行事を心待ちにし、行事の当日は心底楽しんでいる。先生たちの誘い込みのうまさに感心する。</li> <li>・先生たちは、促し、見守り、結果を認めるという基本姿勢を根気強く貫いている。</li> <li>・今年も年少児の着替えの面倒を見に行く年長児の姿をよく見かけた。</li> <li>・他園に比べれば子どもたちはずいぶんしっかりとあいさつする。降園途中の子たちの列に「お帰り。」と声をかけると、わたしたち見知らぬ大人へも「ただいま。」と返してくることが多々ある。</li> <li>・先生たちはみんな聞き上手である。子どもの声にじっくり耳を傾けている。</li> <li>・子どもたちに語りかけるときの先生たちの言葉が優しくてきれい。子どもたちにとって、よい言葉環境が設定されていると言える。</li> <li>・自己評価がB判定なのは、園外保育に出かける時間がなかなか確保できない先生たちのもどかしさが反映されているように思われる。年間活動計画を見直し、時間を生み出す努力を継続されることを期待したい。</li> </ul>
		【子どもの状況】自由遊びの時間、子どもたちはみなのはしゃぎと遊びを楽しんでいる。	A	A	
	2 集団遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、率先して子どもたちの遊びの輪の中に入り、遊びを盛り上げたり遊びの広がりや促したりする。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは外遊びを好み、友達と一緒に群れて遊んでいる。	A	A	
	3 園行事に楽しく参加する子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、「主役は子ども」という姿勢で行事に子どもの思いを反映させている	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、一つ一つの園行事を心から楽しんで受けとめている。	A	A	
	4 自分のことは自分でやれる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもたちが自分でできる可能性の限界を見極めながら、自分の手でできるようになるまで根気強く寄り添おうとする。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、着替えや片付けなど自分一人でやり抜こうとする。	A	A	
	5 美しくあいさつできる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、朝と帰り、心を込めて声をかけ、子どもたちに挨拶の響きの心地よさを知らせながら挨拶のこだま返しを誘っている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは「おはよう」「さようなら」をしっかりと返している。	B	A	
	6 美しくお話しできる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、言葉を大切にしながら子どもの立場に立って分かりやすく話し、子どもの言葉にゆったりと耳を傾けて、思いをしっかりと受けとめる。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは安心して「先生、あのね、」と話し出す。	A	A	
	7 好奇心や探究心を抱く子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、社会事象や自然事象への遭遇（経験・体験）の広がりや求めて、積極的に園外保育に出かける。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちの社会や自然に対する認識の広がりや、確かな歩みを見せている。	B	A	